

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	11 月	22 日	記入者	饗庭 美波子
調査者名	饗庭	久門	鶴田		

文化財名	三吉(みつよし)石塚古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1992年(平成4)3月6日				
所在地	北葛城郡広陵町三吉字石塚				
所有者 管理者	広陵町				
員数	1基				
時代区分	古墳時代中期後葉 5世紀後半				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	あり 説明板が正面に1つ設置				
公開	常時公開				
保存状態	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	適切に管理されており、当面の課題は特になし。月1回、広陵古文化会が植え込みの手入れや除草を行っており、墳丘に設置されているレプリカの埴輪も壊れていないか管理している。(広陵町文化財保存課の担当の方より)				
今後の課題	現地は駅から遠く、車やバス等で向かうことになるが、付近に案内板がなく、専用の駐車場もない(隣接の町営墓地駐車場が空いていれば駐車は認められている)。最寄りバス停「赤部」を下車すると、まず目前には隣の新木山古墳が広がるため、三吉石塚古墳は見えにくい。車で訪れる人、バス利用で歩いて訪れる人、それぞれにわかりやすい案内板設置を望みたい。				
その他 (由緒など)	三吉石塚古墳は、全長52m、周濠、外堤を含めると全長62mの帆立貝式古墳。埋葬施設は未調査、被葬者は不明。築造当初の姿を保つ、かさあげ方式の復元整備が広陵町により1995年(平成7)に行われた。埴輪、葺石についても当時に似せて復元されている。現地は馬見丘陵公園から南へ約1kmの場所で、東隣には陵墓参考地である新木山古墳がある。				
コメント	現地はとても綺麗に管理され、階段が昇りにくい人のためにスロープまで設置されている。しかし、現地まで向かうためのわかりやすい案内板がないことがとても残念。古墳は形が大きいと全貌が見えにくく理解がしづらいが、この古墳は墳丘の頂上に登ることができ、上からほぼ全体像が見渡せるので、初心者にもわかりやすい。また、「まほろば眺望スポット百選」にも選ばれている(奈良県HPより)。現地までのアクセスがわかりやすくなれば、もっと訪れる人が増えるのではと思う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	11月	22日	記入者	饗庭 美波子
調査者名	饗庭	久門	鶴田		

文化財名	三吉(みつよし)石塚古墳
------	--------------

外観	説明板
----	-----



再現された円筒・朝顔形埴輪



墳丘の頂上



頂上から見下ろした様子



説明板横にスロープあり

